

2020 年度  
国語（第二回）

2020年度中学入試第2回 得点率

設問		得点率 (%)	設問		得点率 (%)
1 説明文	問1	36.4	2 物語文	問1	62.8
	問2	77.4		問2	24.4
	問3	94.6		問3	27.9
	問4	22.7		問4	86.5
	問5	37.3		問5	34.5
	問6	88.0		問6	95.9
	問7	82.2		問7	99.1
	問8	84.5		問8	73.3

平均点	総合	61	点
	2科	55	点
	4科	61	点
最高点	2科	82	点
	4科	90	点
最低点	2科	28	点
	4科	31	点

① 出典：渡辺一史『なぜ人と人は支え合うのか「障害」から考える』

問一 「『障害』とは何か、を考える上で、まったく対照的な二つの考え方」を説明する問題です。16行目に「これに対して」という表現があるので、ここを境に前半と後半でそれぞれ1つずつ、合わせて2つの考え方が述べられていると判断できます。「医学モデル」「社会モデル」という語を用いて明確に説明することができない答案が目立ちました。

問二 空欄2に入るものとしてふさわしい内容を選ぶ問題です。43行目から始まる段落を読むと、空欄2には「社会モデルのすぐれた特徴」が「～につながる点」という文末に接続する形で表され、またその特徴は「さまざまな生の条件を背負った人たちを許容する社会」をもたらす可能性があるものであることが分かります。この要素を満たす答えは、ウです。アの障害者を「家族全員でサポートし」という点、イの「治療によって」という点、エの障害を障害者個人に付随する「個性の一部」としている点が社会モデルの特徴と一致しない、という理由でそれぞれ誤っています。概ねよくできていました。

- 問三 「『自立生活運動』と呼ばれる社会変革のための運動」が目指すものを選ぶ問題です。84行目から始まる段落で、「自立生活運動」は障害者の、障害者施設や親元でなく地域で普通に生活したいという願いをきっかけに起こされたと説明しています。よって答えは福祉の対象として「地域」に目を向けている、アとなります。他の選択肢は、福祉の対象を「障害者施設」や「親元」としている点で誤りです。ほとんどの答案が正解でした。
- 問四 「社会が、障害者に『おとなしく』『けなげ』であることを強いてくる」という医学モデルの考え方に基づく社会の様子を説明する問題です。傍線4までの本文のあらゆるところで、障害は個人で対応すべきものという医学モデルの考えが説明されており、この考え方に基づくと「おとなしく」は障害を甘んじて受け入れることであると判断できます。また、「けなげ」は1頁下段52行目から始まる段落で「障害者が努力して障害を克服しようとする姿」に対しての印象であると説明されています。傾向としては、「おとなしく」を言い換えることができない答案が目立ちました。
- 問五 本文全体から筆者の主張を読み取り、説明する問題です。1頁下段58行目から始まる段落で具体的な筆者の主張が展開されているため、ここを手掛かりに記述をまとめます。正答率は4割程度でした。
- 問六 空欄AからDに適切なことばを入れる問題です。概ねよくできていました。
- 問七 漢字の書き取りです。楷書で丁寧に書く必要があります。概ねよくできていました。
- 問八 本文の内容に合致しているものを選ぶ問題です。アでは「社会を変革することではか」、ウでは「医学であっても決して」、エでは「絶対的な治療法が確立されているわけではない」という表現が本文の内容からずれているため、誤りです。

2 物語文：高森美由紀「ブリリアントなサルビアを」からの出題です。

- 問一 「ふたりの前でドアが何度も開閉する。そのたびに消毒液のにおいとさざめきがあふれ出てくる。人々がふたりを邪魔くさそうによけて出入りしていく。」が表すふたりの様子を選ぶ問題です。1つ前の段落で、ふたりがエントランスの前に立っている様子が明らかになっているので、2人が立っている場所を病院の建物の外としている選択肢イ・エに候補を絞ります。また、16行目「ここじゃねえよな。本人どころも悪そうに見えるなかつたし」という台詞から、ふたりの“この場所であっているのか？”という疑問や不安を読み取ることができます。イは「病院独特の雰囲気恐怖に怖気づいている」という様子を本文から読み取ることができません。正答率は6割程度でした。
- 問二 「その目が見開かれる。一瞬、バツが悪そうな顔をした。」の心情を説明する問題です。「目が見開かれる」を「驚き」、「バツが悪い」を「気まずい」と心情が説明できるように置き換え、それぞれ何に対する驚きであり、気まずさであるのかを説明します。状況の説明に留まっている答案が目立ちました。
- 問三 「一か所だけ、五階のちょうど草をむしっているところの正面にあたる窓だけはカーテンが開いていた。」という表現が意味することを説明する問題です。「カーテンが開い

ている」という表現からは、そこから外を眺めている“誰か”の存在が暗示されます。この“誰か”を母親と特定できない答案が目立ちました。

問四 「ちがいます、と否定しかけた壮介にかぶせて『そうです』と断言したのはレイだ。」において壮介とレイの主張が食い違った背景を選ぶ問題です。壮介が友人関係を否定、レイが友人関係を肯定しているという事実関係から、選択肢イ・ウに候補を絞ります。レイがおじいさんに対し、壮介たちと友人関係にあることを強調すると、おじいさんはレイに「きっと安心するだろう」という言葉をかけ、レイの母親がいるのであろう部屋の窓を見上げます。ここから、レイが友人関係を強調したのは母親を安心させるためであったという可能性が暗示されます。よって、正解はウです。イは「壮介はレイを心の底では嫌っている」というのは本文から読み取ることができません。概ねよくできていました。

問五 『手伝え』というレイの申し出を、秀明が承諾するまでの心境の変化を説明する問題です。傍線部直後の「ムツとし」から、秀明が突然の申し出に腹を立てたことが分かります。また、秀明が手伝うことを承諾する直前の箇所で、レイが母親のために花を植えたいと考えていることが明らかにされ、そのために苦勞している状況描写が続きます。ここから、母親のために苦勞しているレイに対し、協力しようという共感の念が湧いたと解釈することができます。本文の内容を根拠にしていない答案が目立ちました。

問六 慣用句の問題です。ほとんどの答案が正解でした。

問七 語句を選択する問題です。ほとんどの答案が正解でした。

問八 本文の内容に合致しているものを選ぶ問題です。アは「お母さん」の様子が本文に書かれていない、イは「極力関わらないようにしている」が本文と食い違ふ、ウは衛生チェックを書き換えたのは壮介ではなく秀明であるという点で間違いです。概ねよくできていました。